

平成 25 年 度
宮城県公立高等学校入学者選抜
前期選抜 学校独自検査問題
(宮城県多賀城高等学校)

小論文

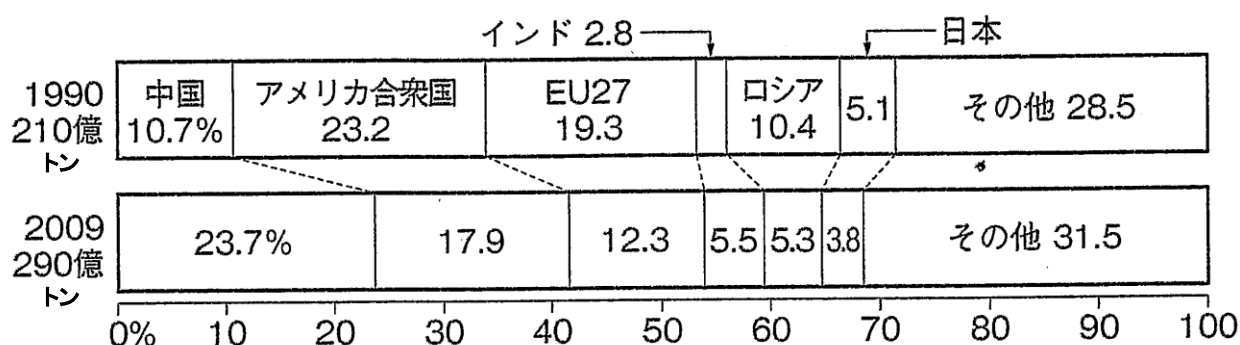
(資料読取型)

(第 4 時 13 : 00～14 : 00)

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、開いてはいけません。
- 2 解答用紙は、中にはさんでいます。
- 3 「始め」の合図があったら、まず別紙の解答用紙を開き、受験番号を書きなさい。
- 4 問題は、2 ページです。
- 5 問題は、第一問から第三問まであります。
- 6 答えは、すべて別紙の解答用紙に書き入れなさい。
- 7 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおきなさい。

グラフは 1990 年と 2009 年の世界の二酸化炭素排出量の割合(%)を示しています。また、グラフの左側に記載されている 210 億トン、290 億トンは世界で排出された二酸化炭素の総質量です。グラフをもとに、下の問いに答えなさい。



出典 日本国勢図会 2012/13 年版

第一問

1. 中国、アメリカ合衆国、インド、ロシアについて、それぞれの首都を書きなさい。
2. EU の正式名称を日本語で書きなさい。
3. 中国、アメリカ合衆国、インド、日本の各国を人口の多い順に並べなさい。
4. 世界の二酸化炭素の排出量の割合(%)が、1990 年から 2009 年の間に 5 %以上減少した国や地域をすべて書きなさい。
5. アメリカ合衆国で排出された二酸化炭素の質量は、1990 年から 2009 年の間で何億トン変化しましたか。変化した量を求め、その増減について、解答用紙の「増加」「減少」のどちらか当てはまる方を○で囲みなさい。ただし、変化した量は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで求めなさい。

第二問 小論文

世界で排出された二酸化炭素の総質量は 1990 年には 210 億トン、2009 年では 290 億トンと増加しています。これは世界の経済成長と深く結びついており、経済成長が進むとともに二酸化炭素の総質量が増加していく傾向にあります。しかし、環境問題を考える上で二酸化炭素の増加は問題となっています。

これらの点を参考にして、「経済成長」と「環境問題」の 2 つの言葉を用いて、今後目指すべき世界のあり方についてのあなたの考えを 320～400 字で述べなさい。

出題のねらい

第一問

- 1 世界の主要都市に関する基本的な知識を問う。
- 2 EUに関する基本的な知識を問う。
- 3 世界各国の人口に関する基本的な知識を問う。
- 4 資料を読み取り，判断する力を問う。
- 5 資料を読み取り，思考力を問う。

第二問

世界的な CO₂ 総質量はグラフから読み取れるように増加傾向である。また CO₂ は主な温室効果ガスであり，CO₂ の増加は海水面の上昇など地球環境の問題の重大な要因の一つと考えられている。各国の「経済成長」と世界的な「環境問題」は両方とも人間生活を維持する上で両立せねばならないことをふまえ，今後の世界のあり方について問う内容とした。